

平成 22 年 3 月 23 日 臨時教育委員会承認
(決定は関連予算議決後)
平成 22 年 3 月 24 日 教育長専決により決定

鳥栖地区定時制高校再編計画

平成 22 年 3 月
佐賀県教育委員会

目次

	頁
1 はじめに	1
2 新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会での検討経過	1
3 計画の内容	
(1) 基本的な学校像	3
(2) 校務運営	4
(3) 特色ある学校づくり	6
(4) 教育課程	8
(5) 施設・設備	10
(6) 教育計画	11
(7) 進路指導	12
(8) 生徒指導	15
(9) 学校保健・安全、給食	17
(10) 教育相談	18
(11) 人権・同和教育	19
(12) 広報活動	20

参考資料

1 鳥栖高校定時制と鳥栖工業高校定時制の現状	21
2 平成 23 年度教育課程表	23
3 制服について	25
4 給食について	27
5 LHR・行事予定計画	30
6 新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員名簿	32

1 はじめに

平成 21 年 3 月に佐賀県立高等学校再編整備第二次実施計画を策定し、鳥栖高等学校定時制と鳥栖工業高等学校定時制を再編統合することを決定した。

計画では、平成 23 年 4 月に鳥栖工業高等学校定時制に、既存の機械・電気科に加えて普通科を設置し、各学科 40 人を募集することにより、学校の活性化や指導の充実を図ることとしている。

これを踏まえ、鳥栖工業高等学校の新しい定時制の具体的なあり方等を検討するために、平成 21 年 4 月に両高校、両高校 P T A、鳥栖市、地元中学校及び県教委の関係者を委員とする「新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会」を立ち上げ、平成 23 年度の再編整備に向け、特色ある学校づくりを目指した検討を行ってきた。その結果を踏まえ、ここに佐賀県教育委員会として、鳥栖地区定時制高校再編計画を取りまとめる。

2 新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会での検討経過

本年度は、「新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会」を 5 回開催し、教育目標、めざす学校像、校務運営、教育課程、教育計画等の具体的内容の検討を行った。

また、この委員会は公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて開催案内や協議事項概要等の報告を行い、県民への情報提供に努めた。

これまでの委員会開催日及び主な検討事項は次のとおりである。

第 1 回 平成21年 4 月30日（木）
委員委嘱 鳥栖地区定時制再編の考え方 ・再編計画 ・具体的に考えられる効果 めざす学校像 主要検討項目の考え方 ・教育内容 ・施設・整備 新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会検討スケジュール
第 2 回 平成21年 7 月28日（木）
教育目標、めざす学校像、各指導方針 ・教育目標・めざす学校像 ・学習指導方針、進路指導方針、生徒指導方針、 保健指導方針、教育相談指導方針 教育課程 ・必修科目、選択科目の設定 ・学校設定科目の設置 ・基礎学力向上対策

<p>現在の検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特色ある学校づくり ・ 施設 ・ 制服、部活動、生徒会活動 <p>作業スケジュール</p>
<p>第3回 平成21年10月29日(木)</p> <p>教育目標、めざす学校像、各指導方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標、めざす学校像 ・ 人権・同和教育指導方針 <p>現在の検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある学校行事、学校の活性化 ・ 教育課程 ・ 進路指導の充実のためのキャリア教育 ・ 制服のあり方 ・ 部活動、生徒会活動 ・ 各種委員会 <p>作業スケジュール</p>
<p>第4回 平成21年12月17日(木)</p> <p>これまでの設置準備委員会における検討のまとめ</p> <p>作業部会での検討状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動計画・部活動計画 ・ 教育相談指導体制 ・ 制服のあり方 ・ 給食の現状 ・ 年間行事予定・LHR計画 ・ リーフレット <p>今後のスケジュール</p>
<p>第5回 平成22年3月19日(金)</p> <p>これまでの設置準備委員会における検討のまとめ</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程 ・ 面接・小論文、特課等指導 ・ 制服のあり方 ・ 年間指導計画 ・ 広報活動

3 計画の内容

(1) 基本的な学校像

再編の目的

鳥栖高校定時制(普通科)と鳥栖工業高校定時制(機械・電気科)を再編統合し、両校のこれまでの教育を引き継ぐとともに、生徒たちの活力の向上や切磋琢磨する環境を整え、学校の活性化と指導の充実を図る。

再編時期は平成23年4月とし、校地は鳥栖工業高等学校の校地とする。また、募集定員は、普通科40人、機械・電気科40人とする。

教育目標

働きながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな想像力を持ち、自ら学ぶ力と自ら律する力を備え、心身ともにたくましく、個性豊かで人間愛に満ちた、社会に貢献できる人材を育成する。

めざす学校像

- ・ 勤労と学業を両立させ、たくましく、前向きに、夢に挑戦できる学校
- ・ 学ぶ意欲のある者に、学ぶチャンスと環境を提供する学校
- ・ 多様な進路を選択する生徒のニーズに応え、計画的にキャリア教育を行う学校
- ・ 普通科と機械・電気科を併置することから、「ものづくり」を積極的に取り入れた教育を推進する学校
- ・ 社会生活に必要な基本的な生活習慣、生活マナー、言葉遣いなどを身につけた社会人を育成する学校

教育の特色

ア キャリア教育の推進

- ・ LHRの時間を活用し、4年間を見通して計画的にキャリア教育を実施する。

イ 普通科、機械・電気科の相互に選択可能な科目の設定

- ・ 両科の生徒の進路希望や興味・関心に応じた選択科目を設定する。

例 機械・電気科の科目

電気機器(電気機器及び電気材料に関する基礎的な知識と技術)、原動機(内燃機関、自動車など)

普通科の科目

国語表現、国語表現、日本史A、地理A、現代社会、倫理、政治・経済、数学A、数学B、音楽、音楽、美術、美術

専門教科の科目

消費生活、発達と保育

学校設定科目

パソコン技術基礎

ウ 少人数指導の実施

- ・ 習熟度別授業やTT授業を行う。
- ・ 国語、英語、数学の教員は複数配置できることから、生徒の進路希望や習熟度に対応した指導を行う。

エ ものづくり学習の推進

- ・ 「ものづくり」を主なテーマとして、普通科は「総合的な学習の時間」、機械・電気科は「課題研究」を同時間に実施することを検討する。

オ 魅力ある学校行事

- ・ 両校の従来の学校行事を踏まえ、魅力ある学校行事を検討する。

カ 資格取得等を目指す講座の開設

- ・ 資格取得などを目標として、授業以外で講座を実施する。機械・電気科の生徒には、従来の専門分野の資格の他に、英検等の普通科分野の資格取得に向けた指導を充実させるとともに、普通科の希望する生徒には専門分野の資格取得に向けた指導を行う。

例 乙種第四類危険物取扱者(ガソリンスタンドの責任者) 丙種危険物取扱者(ガソリンや灯油等の取扱者) 第二種電気工事士(屋内配線工事) パソコン利用技術検定(ワープロ、表計算)など

- ・ 生徒の進路志望に応じて、就職、進学対策講座を開設する。

キ 学校の活力の向上

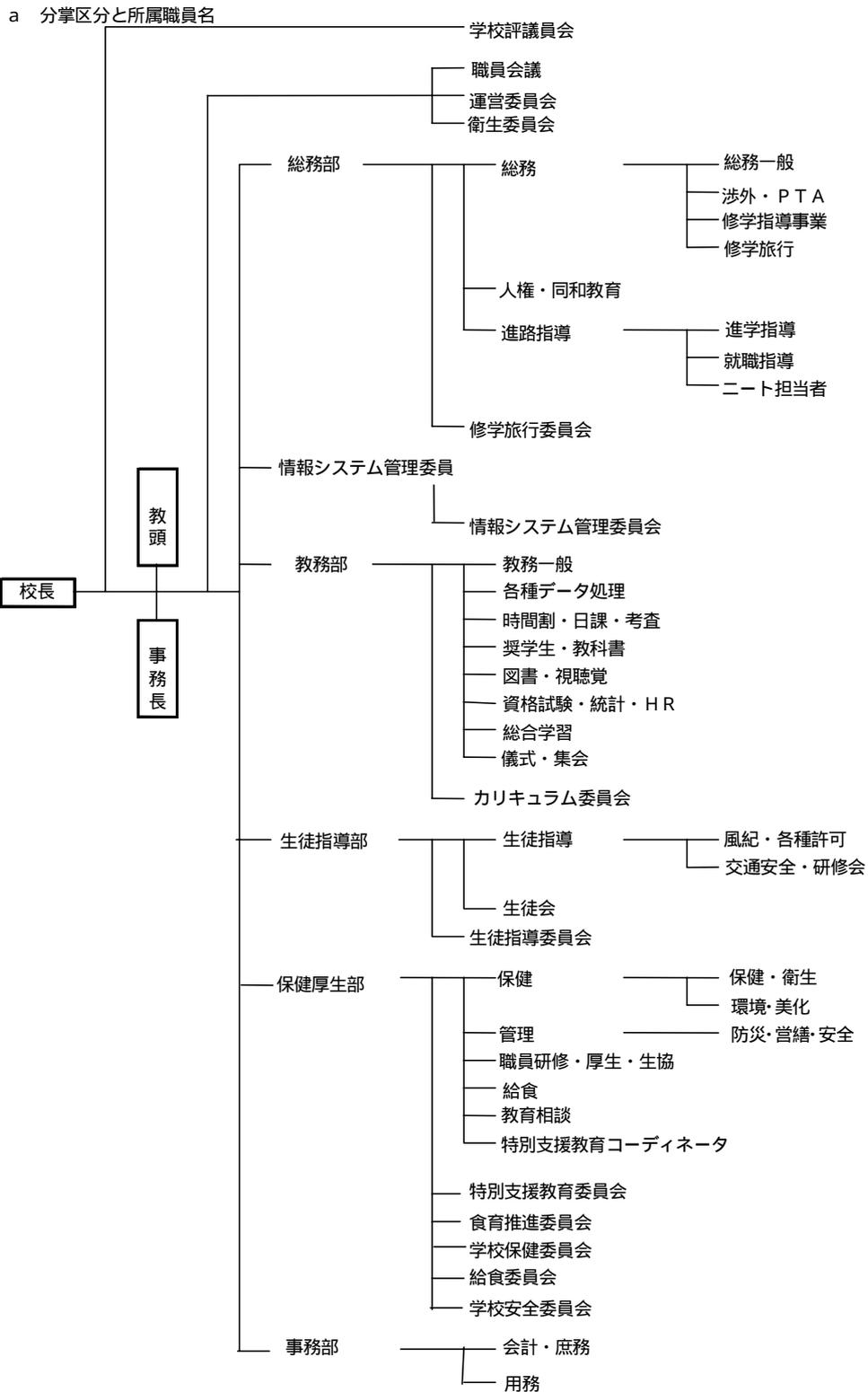
- ・ 生徒が増えることで活力ある授業を展開できるようになり、生徒同士の触れ合いや切磋琢磨の機会が増加する。
- ・ 部活動の設置数や部員が増加する。

(2) 校務運営

委員会編成

委員会名	委員数	備考
運営委員会	委員数は、今後教職員に応じて配置する。	
カリキュラム委員会		
学校安全委員会		全定同時開催
生徒指導委員会		
学校保健委員会		全定同時開催
給食委員会		
修学旅行委員会		
衛生委員会		全定同時開催
特別支援教育委員会		
食育推進委員会		
情報システム管理委員		全定同時開催

校務分掌編成



特徴：総務部進路指導の中で、進学指導と就職指導に分けて配置する。

(3) 特色ある学校づくり

「ものづくり」学習

ものづくりを主なテーマとして取り組む。

ア 実施時間の設定

- ・ 普通科は「総合的な学習の時間」、機械・電気科は「課題研究」を同時間に行い、4年次に週3時間実施することを検討する。

イ 実施内容

- ・ 普通科の生徒は、家庭科や美術科的内容を含むものや機械・電気科の課題研究などから選択する。
- ・ 機械・電気科の生徒は、引き続き課題研究として取り組む。

(参考) ものづくり学習(鳥栖工業高校の実施例)

課題研究のテーマ(電気科)・・・過去3年間

- ・ P I Cマイコンによる L E D制御盤の製作
- ・ 総合工事实習
- ・ 1石ワイヤレスマイクの製作
- ・ 大型溶接台の製作
- ・ シーケンス制御盤の製作
- ・ 下駄箱の製作
- ・ 溶接実習用仕切板の製作
- ・ 電子ルーレットの製作
- ・ ライトレースカーの製作
- ・ スリッパ棚の製作

課題研究のテーマ(機械科)・・・過去5年間

- ・ C A Dによる図面製作
- ・ 棚製作
- ・ テレビ台製作
- ・ プリント台製作
- ・ メタルクラフト
- ・ 模型工作
- ・ アニメーションの製作
- ・ スリッパラック製作
- ・ 傘立て製作
- ・ ナイフメイキング
- ・ ブックエンドの製作
- ・ ペーパークラフト

各種講座の開設

授業以外で次のような各種講座を実施する。

	項目	内容	目的	期間	選択の可否	
					普通科	機械・電気科
1	第二種電気工事士資格取得対策講座	第二種電気工事士資格取得に必要な知識・技能の習得	第二種電気工事士資格取得	4月～7月 (16:00～17:00) 6月:筆記試験,7月:技能試験 週5日間		
2	ガス溶接技能講習	ガス溶接に必要な知識・技能の習得	ガス溶接技能講習修了	7月(16:15～17:00) 1週間程度		
3	2級ボイラー技士資格取得対策講座	2級ボイラー技士資格取得に必要な知識の習得	2級ボイラー技士資格取得	7月～8月 (16:15～17:00) 週5日間		
4	第一種電気工事士資格取得対策講座	第一種電気工事士資格取得に必要な知識・技能の習得	第一種電気工事士資格取得	9月～11月 (16:00～17:00) 10月:筆記試験,12月:技能試験 週5日間		
5	危険物取扱者(乙種第4類,丙種)資格取得対策講座	危険物取扱者(乙種第4類,丙種)資格取得に必要な知識の習得	危険物取扱者(乙種第4類,丙種)資格取得	10月～11月 (16:15～17:00) 週5日間		
6	就職試験対策講座 (一般常識編)	就職試験に頻出の一般常識問題に対応できる基礎学力の定着	就職内定	7月～8月 (40分×3コマ 18:00～20:15)週5日間		
7	就職試験対策講座 (作文・面接編)	就職試験に向けた作文力養成と面接対策の指導	就職内定	7月～8月 (90分×1コマ 18:00～19:30)週5日間		
8	大学等推薦入試小論文対策講座	推薦入試の小論文に対応できる知識・技術・思考力の養成	推薦入試合格	7月～8月 (90分×1コマ 18:00～19:30)週5日間		

魅力ある学校行事・学校の活性化

両校の従来为学校行事を踏まえ、魅力ある学校行事として次のものを検討している。

ア ロボットコンテスト

- ・ 有線操作のロボットキットで作成し、クラス若しくは学年対抗のサッカー大会やボール運び大会などを実施する。

イ 制作展示コンテスト

- ・ ホームページ、ゲームなどを制作展示する。

ウ 卒業生による職業紹介(仮称:鳥栖工業ハローワーク)

エ 社会人としてのマナー講習会

- ・ 専門学校等に講師を依頼する。

オ クラスマッチ

- ・ ドッチボールなど

カ 開校登山

- ・ 鳥栖工業高校は以前は九千部山に登っていたが、現在は実施していない。鳥栖高校は平日に杓子ヶ峰に行っており、80%以上の生徒が参加している。

キ 生活体験発表の校内審査会

ク 修学旅行

- ・ 学年単位で毎年実施を検討する。現在は2学年合同で、隔年に実施している。

(4) 教育課程

教育課程表(平成23年度用) 参考資料2

選択科目

普通科のみの選択科目群

選択枠	単位数	科目名	備考
N	3	古典、(物理、化学)、 <u>リーディング</u>	2,4年次共通
O	4	世界史B、数学、英語	3,4年次共通
P	4	現代文、日本史B、 <u>ライティング</u>	3,4年次共通

工業科のみの選択科目群

選択枠	単位数	科目名	備考
I	2	数学基礎、機械工作、電子技術	2年次

普通科工業科共通選択科目群

選択枠	単位数	科目名	普通科選択年次	工業科選択年次
J	2	国語表現、【現代社会】、 <u>数学B、フードデザイン</u>	3,4年次共通	3年次
K	2	国語表現、日本史A、美術、 <u>書道、原動機、ハードウェア技術</u>	3,4年次共通 原動機、ハードウェア技術を除く	3年次
L	2	地理A、数学A、(発達と保育、消費生活) <u>生産システム技術、マルチメディア応用</u>	3,4年次共通 生産システム技術、マルチメディア応用を除く	4年次 地理Aは全員履修のため除く
M	2	(倫理、政治・経済)、美術、 <u>書道、【家庭総合】、原動機、電気機器、学校設定科目</u>	3,4年次共通	4年次

()で括った科目は、隔年開講

【 】で括った科目は、転編入生の未履修者のみ

学校設定科目

学校設定科目として「パソコン技術基礎」を設定する。

科目名	パソコン技術基礎			教科名	工業			
種別	必履修	選択必履修	選択	単位数	開校学期	通年	前期	後期
教科書	なし			副教材	自作プリント，市販ガイドブック等			
履修条件（履修順序）	特になし							
履修上の注意事項	パソコンの基礎的知識や操作法に興味・関心がある生徒を対象とする。							
学習の目標	情報化社会に対応するため、情報技術の基礎的知識と技術を習得させる。							
学習内容	前期	(1)「ワープロ基礎」では、ワープロソフトWordを使って文書作成に取り組み、更に写真やイラストを入力する方法について学習する。 (2)「表計算基礎」では、表作成ソフトExcelを使って集計表の作成に取り組み、データの集計方法について学習する。 (3)「表計算応用」では、「表計算基礎」で作成した集計表を使ってグラフを作成し、より視覚的に理解しやすいデータ公開の方法について学習する。						
	後期	(4)「データ通信」では、メールソフトを利用してメール文書を作成し、効率的な通信方法について学習する。 (5)「マルチメディア」では、情報通信ネットワークを利用して、ホームページの作成方法について学習する。 (6)「データアクセス」では、複数のデータ表を作成しそれらを相互に関連づけて、データ管理の方法について学習する。						

基礎学力向上対策

習熟度別指導やTT授業を実施する。

実施科目	実施例
【習熟度別指導】 ・数学（必履修）	「大学進学希望者や数学が得意な生徒」と「基礎学力が不足している生徒」に分けて実施する。
【TT授業】 ・国語表現	グループ学習を実施する。
・英語	学力差解消のため、TT授業を実施する。
・OC	ALTとのTT授業を実施する。
・情報技術基礎	年間を通じて、資格取得指導を実施。筆記試験と実技試験があり、後者の指導ではCAI室でTT授業を実施する。

(5) 施設・設備

給食運営・給食室改修

- ・ 自校調理方式で行う方針で検討する。
- ・ 現在の生徒数の状況から今後の生徒数推移を表のように見込んでいる。
- ・ 調理能力や収容人数を最大限広げる方向（調理器具の変更、机を替えるなど）で検討する。

新鳥栖地区定時制高校の生徒数の見込み

鳥栖高校	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数	50	55	58	39	26	17	

鳥栖工業	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
生徒数 A	64	54	58	83	101	113	120
生徒数 B	64	54	54	71	86	96	101

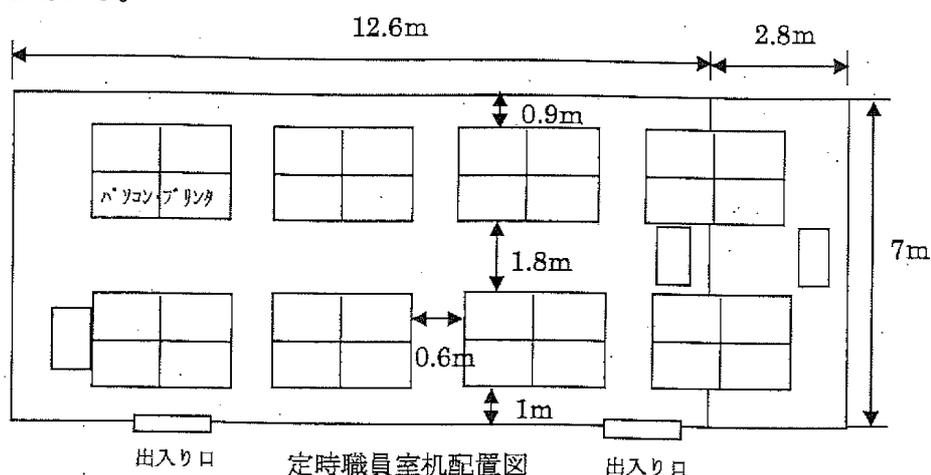
(注)

生徒数 A は入学者数と卒業生数の過去5年平均と入学者数の最大及び卒業生数の最小との平均による見込数

生徒数 B は入学者数と卒業生数の過去5年平均による見込数

定時制職員室改修

職員数が増加するため、現在の定時制職員室を下図の通り 2.8m 拡張することになっている。



普通教室、昇降口配置

普通教室については全日制と共用することで検討している。昇降口については現在と同様の生徒昇降口を利用する。下足箱は数に余裕がある。

書道教室

普通教室を利用する方が有効利用できるもので、特別に書道教室を設けることはしない。

(6) 教育計画

学習指導方針

分かる授業の実践と、基礎学力及び工業技術・技能の定着を図る。

- ・ 望ましい社会人として必要な学力や技術を身につけさせるために、教材を工夫し、生徒に応じた適切な指導を行う。
- ・ 一時間の授業を重視し、意欲や関心を喚起し、積極的に学ぶ態度を養う。
- ・ 各種資格取得に積極的に挑戦させ、達成感を味わわせるとともに、生活や職業に生かすことの出来る知識や技能を養成する。
- ・ 人としてのあり方、生き方について考えさせ、道徳心を磨くとともに、健やかな身体を養う。

年間指導計画

月	第1年次	第2・3年次	第4年次	備考
4	生徒実態調査	生徒実態調査 電気工事士受験指導	生徒実態調査 電気工事士受験指導	教科主任会 指導要録の整理 教科指導計画
5	保護者会 授業参観 計算技術検定受験指導	保護者会 授業参観 電気工事士受験指導	保護者会 授業参観 電気工事士受験指導	教科主任会
6	計算技術検定受験指導 ボイラー技士受験指導 第1回定期考査	電気工事士受験指導 ボイラー技士受験指導 第1回定期考査	電気工事士受験指導 ボイラー技士受験指導 第1回定期考査	
7	三者面談 ガス溶接講習指導 生活体験作文 ボイラー技士受験指導	三者面談 電気工事士受験指導 ガス溶接講習指導 生活体験作文 ボイラー技士受験指導 進学、就職対策	三者面談 電気工事士受験指導 ガス溶接講習指導 生活体験作文 ボイラー技士受験指導 進学、就職対策	
8	ボイラー技士受験指導	ボイラー技士受験指導 進学、就職対策	ボイラー技士受験指導 進学、就職対策	生徒面談
9	第2回定期考査	第2回定期考査 電気工事士受験指導	第2回定期考査 電気工事士受験指導	成績不振者への注意・ 指導 教科主任会 進学就職打合せ

月	第1年次	第2・3年次	第4年次	備考
10	危険物取扱者受験指導	危険物取扱者受験指導 電気工事士受験指導	危険物取扱者受験指導 電気工事士受験指導	
11	危険物取扱者受験指導	危険物取扱者受験指導 電気工事士受験指導	危険物取扱者受験指導 電気工事士受験指導	進学説明会
12	第3回定期考査 授業評価アンケート	第3回定期考査 電気工事士受験指導 授業評価アンケート	第3回定期考査 電気工事士受験指導 授業評価アンケート	成績不振者への注意 指導 授業評価アンケート
1	基礎学力テスト	基礎学力テスト	基礎学力テスト	教科主任会
2	第4回定期考査	第4回定期考査	第4回定期考査	
3				卒業式 単位認定会議 指導要録記入 本年度反省

校時表

現行の鳥栖工業高校の校時表で実施する。

給食	17:20 ~ 17:40
H R	17:45 ~ 17:50
1時限	17:50 ~ 18:40
2時限	18:45 ~ 19:35
3時限	19:40 ~ 20:30
4時限	20:35 ~ 21:25
特別授業	16:15 ~ 17:00

特別授業：資格取得や進学、就職対応講座を空き教室で実施する。

(7) 進路指導

指導方針

計画的・継続的・組織的なキャリア教育を推進し、勤労を尊ぶ健全な気風を養う。

ア 就職指導

- ・ 基礎学力の徹底と専門教育の充実及び資格取得の推進を図る。
- ・ 職場訪問や懇談会等により地域社会との連携を密にする。
- ・ ハローワークと連携しながら、常に就職情報を分析し、求人開拓、斡旋、指導の組織体制を整備する。

イ 進学指導

- ・ 大学、専門学校等についての進学情報を提供する。
- ・ 進学希望者に対して個別指導を実施する。
- ・ 学力向上のために補習を実施する。

面接・小論文指導、特課等年間指導計画

	進学、就職対策	資格取得対策
4月	個別指導	第二種電気工事士筆記試験対策講座 同技能試験対策講座(4月～7月) ガス溶接技能講習(7月) 2級ボイラー技師資格対策(6～8月)
5月		
6月		
7月	夏季補習 就職(教科等の指導)	第一種電気工事士資格取得対策(9月～11月) 同技能試験対策講座(12月) 危険物取扱者資格取得対策(乙種第4類,丙種) (10月,11月)
8月	進学(小論文指導 *教科は個別指導)	
9月	面接・作文・礼法指導等(随時)	
10月		
11月		
12月		
1月	個別指導	
2月		
3月		

(参考資料) 平成20年度、21年度夏季補習実施要領(鳥栖高校)

<平成20年度>

1. 対象年次 2年次、3年次、4年次
2. 実施科目 就職.....国語・数学・英語・理科・社会(5教科)
進学.....小論文指導
3. 申込者数 就職15名 進学5名

<平成21年度>

1. 対象年次 2年次、3年次、4年次
2. 実施科目 就職.....国語・数学・英語・理科・社会及び面接指導
進学.....小論文指導
3. 申込者数 就職11名 進学2名

年間指導計画（キャリア教育を含む）

4年間を見通して計画的にキャリア教育を実施する。

月	行 事					備考
	共通	1年次	2年次	3年次	4年次	
4	進路調査					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 就職に関する 情報収集 （会社訪問、 求人開拓等） </div>
5	生徒の職場調査	ポートフォリオの作成	職業適性検査	進路ガイダンス	進路ガイダンス	
6	進路講話 進路説明会 （保護者）	LHR「仕事と適性を知る」	LHR「フリーターとニート」	LHR「進路の手引き」「自己分析」	クレベリン検査 求人票の見方 履歴書書き	
7	生徒の職場調査 生徒の職場への訪問 三者面談 夏季補習			面接指導	面接指導	
8	生徒の職場への訪問 夏季補習			面接指導	面接指導	
9	進路職業調査	生徒理解面談	生徒理解面談	生徒理解面談	就職応募書類 発送 入社試験開始 面接指導	
10	生徒の職場調査				進学希望者指導 推薦入試願書 提出 論文面接指導	
11	社会人としてのマナー講習会				内定者指導	
12	進路講話	進路講話	進路講話	進路講話	内定会社への 年賀状 内定者指導	
1	鳥栖工業ハローワーク 生徒の職場調査	各種資格・免許等の紹介と整理	各種資格・免許等の紹介と整理	各種資格・免許等の紹介と整理	赴任前指導	
2		進路ガイダンス	進路ガイダンス	進路ガイダンス	赴任の確認と 諸注意	
3		1年間の反省と 次年度の目標	1年間の反省と 次年度の目標	1年間の反省と 次年度の目標	赴任の確認	

(8) 生徒指導

指導方針

生徒の実態に即した指導を行い、基本的な生活習慣や規則を守る態度を身に付けさせ、学校・社会の一員としての自覚を持たせる。

- ・ 挨拶・服装、マナー指導（通学、集会）を徹底する。
- ・ 生徒会活動、部活動、ボランティア活動を推進する。
- ・ 勤労生徒の就業実態を絶えず把握し、学業との両立が図れるよう指導する。
- ・ 交通安全教育の徹底を図り、交通事故防止に努める。
- ・ 家庭や職場との連携を密にし、適切な指導を行う。

年間指導計画

月	行 事
4月	対面式
	オリエンテーション（生徒心得、学校規則等）
	登校指導（車両、挨拶等）、頭髪服装検査
	クラス役員選出
5月	定通野球大会壮行式
	総会に向けたクラス討議
	いじめアンケート
	前期生徒総会
	携帯電話安全教室
6月	定通総体結団式
	定通総体
	定通総体表彰・解団式
	交通安全指導
	車両検査
7月	交通安全教育講演会
	夏季休業中の生活指導
8月	家庭訪問
	地区別巡視
	登校指導（車両、挨拶等）
	頭髪服装検査
9月	いじめアンケート
	交通安全指導（車両検査）
	ホームマッチ
10月	頭髪服装検査
	生徒会長選挙
	後期クラス役員選出
11月	後期生徒総会
	いじめアンケート
	防犯講話・薬物乱用防止教室
12月	冬期休業中の生活指導
1月	登校指導
	頭髪服装検査
	いじめアンケート
2月	予餞会（ホームマッチ）
	消費者教育講座
	頭髪服装検査
3月	校外巡視

制服のあり方

設置準備委員会における主な意見は資料3のとおりである。これらの意見等を参考とし、在校生やPTA役員、学校職員のアンケート結果や他の定時制高校の現状も合わせて検討した結果、次のようにまとめた。

- ・ 制服を規定するが、生徒個々の状況に応じて、現在の鳥栖工業高校で行われているように、許可制で私服を認める。

なお、制定する制服や服装に関する規則は、今後、引き続き検討していく。

部活動

- ・ 部活動は全員加入で6月の総体前は授業を振り替えて実施するなど、活動の状況が同じであることから、鳥栖工業の部活動を引き継ぐことにする。
- ・ 活動生徒が増えることで、活性化が期待できる。特に、女子については人数が増え、試合出場が可能になると考えられる。

(参考) 現在の部活動状況 (鳥栖高校定時制、鳥栖工業高校定時制)

鳥栖高校

(平成21年度学校要覧より 5月1日現在)

部活動名	顧問	生徒数		
		男	女	計
バスケットボール	4	11	11	22
バレーボール	2	0	16	16
卓球	3	4	11	15
計	9	15	38	53

在籍者数
55

(休学2人を除く)

鳥栖工業高校

部活動名	顧問	生徒数		
		男	女	計
総務(生徒会)	2	6	2	8
卓球	2	5	4	9
陸上	3	9	0	9
バレーボール	4	10	2	12
バスケットボール	3	12	0	12
総合	3	9	1	10
野球	6	22	0	22
計	23	73	9	82

在籍者数
54

(重複入部)

生徒会活動

- ・ 鳥栖工業高校では、生徒会を会長、副会長、総務の8人で運営しており、年2回の生徒総会、会長選挙、対面式、卒業生を送る会、ホームマッチなどの学校行事を実施している。
- ・ 統合後は、現在の活動を継続し、新たに加えるものがないか今後検討することにする。

(参考) 現在の生徒会役員及び活動内容・部活動設置状況(鳥栖工業高校定時制)

生徒会役員(任期1年)	活動内容
生徒会長	
副会長	
体育委員長	ホームマッチや送る会など運営
体育副委員長	
風紀委員長	高校生らしい服装・ 頭髪や交通安全など呼びかけ
風紀副委員長	
文化委員長	各種募金活動
文化副委員長	
書記 2名	

部活動名	顧問
総務(生徒会)	2
野球部	6
陸上部	3
卓球部	2
バレーボール部	4
バスケットボール部	3
総合部	3

(H21年度)

野球部と総務は、他の部と重複できる。

(参考)現在の生徒会活動計画・部活動計画(鳥栖工業高校定時制)

月	生徒会活動		部活動		
	日程	行事	日程	行事	期間
4月	上旬	対面式			
			4月中旬~ 5月上旬	野球練習開始	12日間
			下旬	定通総体エントリー	2日間
5月			上旬	定通野球大会壮行式	
			上旬	定通野球大会	
	下旬	前期生徒総会			
6月			上旬	総体練習開始	10日間
			中旬	総体壮行式	
			中旬	定通総体	
9月	下旬	ホームマッチ			
10月	中旬	生徒会長立候補受付			
	下旬	生徒会長選挙			
11月	中旬	後期生徒総会			
2月	中旬	卒業生を送る会 (ホームマッチ)			

(9) 学校保健・安全、給食

指導方針

- ・ 規則正しい生活習慣を確立させ、自主的に健康管理ができるよう援助する。
- ・ 生命尊重の基本理念に基づき、自分自身や関わりを持つものを大切にできるよう援助する。
- ・ 健康診断、事後指導、個別指導の徹底を図る。
- ・ 家庭及び関係機関との密接な連携を図る。

年間指導計画

月	行 事		
	学校保健	学校安全	給食
4月	オリエンテーション、保健調査、身体測定、レントゲン間接撮影（1年）、心電図検査（1年）、各種検診（眼科、歯科、内科、耳鼻咽喉科）、尿検査、麻しん予防接種推奨保健指導	安全点検、大掃除	オリエンテーション
5月	水質検査、検診後の治療勧告、視力再検査（1.0未満）、要観察生徒一覧表作成	安全点検、大掃除	給食委員会、給食施設調査
6月	定期健康診断の事後措置、歯科指導、健康診断結果一覧表作成	安全点検	
7月	性教育講演会、夏季休業中の保健指導、保健統計調査	安全点検、大掃除	
8月	保健関係帳簿整理	安全点検、大掃除	
9月	夏季休業中の健康調査、水質検査、エイズ予防講演会	安全点検、防災訓練、大掃除	
10月	照度測定、保健アンケート調査	安全点検、大掃除	給食施設調査
11月	風邪・インフルエンザ予防保健指導、修学旅行事前健康調査	安全点検	
12月	修学旅行健康診断・保健指導（隔年）	安全点検、大掃除	
1月	空気検査、風邪・インフルエンザ予防保健指導	安全点検、大掃除	
2月	病気休学者への家庭連絡、保健講話（卒業生対象）、全定合同保健委員会	安全点検	給食委員会、給食施設調査
3月	保健講話（在校生対象）、新年度の計画、保健統計	安全点検、大掃除	食育講話

（10）教育相談

指導方針

- ・ 人間関係のあり方、コミュニケーション能力を養い、社会人としての人格形成を図る手助けをする。
- ・ 面談を通して生徒理解につとめ、問題の早期発見とともに、個々の生徒に応じた適切な指導を行う。
- ・ スクールカウンセラーや専門機関と連携をとりながら、職員全体で問題を抱えた生徒に対して心理的援助活動を行う。

指導体制

ア 教育相談部による職員研修

学校における教育相談は、すべての職員が生徒にかかわり、職員全体で取り組むべきものである。クラス担任や教科担任、生徒指導部をはじめとする校務分掌が適切な指導を行うことで教育相談は効果が上がる。そのために教育相談部は専門機関との連携を図り、職員に研修の機会を設ける。

イ 不登校生徒対策会議

年1回(10月下旬)に開催し、不登校傾向の生徒及び問題があると認められる生徒(どこか気になる生徒)について、担任が提出した「教育相談カルテ」(当該生徒に関する情報を項目別に記録したもの)をもとに、スクールカウンセラーの指導助言を受け、全体で協議する。

ウ 生徒理解面談

全職員で全生徒を一斉に面談する日を年2回設ける。教師と生徒が同じレベルで心を通わせ、お互いに自然に声かけができる状況をつくる。また、「みんなで生徒を指導しよう」という理念のもとに実施する。

エ スクールカウンセラーの利用

職員研修・不登校対策会議などでスクールカウンセラーに出席してもらう。また、担任から要請があれば、スクールカウンセラーとの面談を設定する。

年間指導計画

月	行 事
4月	新入生オリエンテーション 生徒理解面談
5月	
6月	
7月	
8月	生徒面談
9月	
10月	不登校生徒対策会議
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	生徒理解面談

(11) 人権・同和教育

指導方針

- ・ 民主主義の基本である人権尊重、法の下における自由・平等の原則を身につけさせる。
- ・ 人権・同和教育の現実を理解させ、いかなる差別もしない、させない人権感覚の育成をはかる。

年間指導計画

月	行 事
4月	
5月	
6月	人権・同和教育
7月	
8月	
9月	進路保障（４年生）
10月	
11月	道徳教育
12月	
1月	
2月	
3月	人権・同和教育（１年～３年）

（12）広報活動

- ・ 再編の趣旨や教育内容などについて、佐賀県教育委員会のホームページに掲載し、同時に関係市町に通知する。また、市町に広報依頼も行う。
- ・ 学校紹介リーフレットを作成し、関係教育委員会や中学校を訪問し、説明を行う。

参 考 資 料

- 1 鳥栖高校定時制と鳥栖工業高校定時制の現状 21
- 2 平成 23 年度教育課程表 23
- 3 制服について 25
- 4 給食について 27
- 5 L H R ・行事予定計画 30
- 6 新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員名簿 32

1 鳥栖高校定時制と鳥栖工業高校定時制の現状

(1) 生徒像

- ・ 中学校時代に不登校や集団生活不適應等を経験した生徒や、経済的困窮等、家庭的に厳しい状況の生徒がいる。
- ・ 基礎学力が十分でない生徒も多く、学力に差がついている状況がある。
- ・ 普通科として間口が広いことで、目的意識が希薄の生徒もいる。
- ・ 言葉遣いや態度などマナーが身に付いていない生徒もいる。
- ・ 全日制高校が不合格で、2次募集で合格する生徒が1/3～1/2程度いる。
- ・ 生徒は落ち着いており、生徒指導関係の問題が少ない。

(2) 進路指導関係

- ・ 生徒の進路意識を高める指導が十分ではない。
- ・ 多くの生徒は正社員を希望しているが、一部にはアルバイトを好む生徒がいる。
- ・ 進路指導や進学対応の補習が十分ではない。

(3) 生徒指導関係

- ・ 欠席、遅刻が多いなど基本的な生活習慣が身に付いていない生徒がいる。
- ・ 昼間は働いているため、通学に原付自転車、バイク、自動車を使用しており交通事故にあうケースがあった。

平成20年度通学手段及び事故件数

	通学手段			事故件数		
	原付自転車	自動二輪	自動車	原付自転車	自動二輪	自転車
鳥栖工業	11		6	0		0
鳥栖	4	1	5	0	1	0

- ・ 服装は制服または高校生らしい服装（私服）を許可している。（鳥栖工高）
- ・ 女子生徒の中には指導が必要な生徒もいるが、多くは高校生らしい服装をしている。（鳥栖高）
- ・ 家庭的に課題のある生徒も多く、栄養のバランスの上でも給食が重要な位置を占めている。

(4) 教育相談関係

- ・ 生徒理解面談を年2回実施して生徒の悩み、普段の生活、家庭の悩み事などの相談の時間としている。その他、前期の中間で三者面談や年1回(10月)スクールカウンセラーと職員との事例研究会を実施している。(鳥栖工高)
- ・ 年度初めの4月に個人面談を行い、年3回(7、10、12月)三者面談を実施している。(鳥栖高)

2 平成 23 年度教育課程表

(1) 普通科

平成 23 年度 実施教育課程表
(平成 23 年度入学生用)

(定時制課程)

(普通科)

佐賀県立鳥栖工業高等学校

教科	科目	単位数	学年次					併修生			併修による単位	併修生合計	注
			1年次	2年次	3年次	4年次	4年卒合計	1年次	併修2年	併修3年			
国語	国語表現	2			J	0,2			J	0,2		0,2	
	国語表現	2			K	0,2			K	0,2		0,2	
	国語総合	4	2	2		4	2	2		4	0	4	
	現代文	4			P	0,4			P	0,4	0,4	0,3,4	
	古典	4		N		N	0,3		N		0,3	0,4	0,3,4
地理歴史	世界史A	2	2			2	2			2		2	
	世界史B	4			O	0,4			O	0,4	0,4	0,4	
	日本史A	2			K	0,2			K	0,2		0,2	
	日本史B	4			P	0,4			P	0,4	0,4	0,4	
	地理A	2			L	0,2			L	0,2		0,2	
	地理B	4				0				0	0,4	0,4	
公民	現代社会	2		2		2		2		2		2	
	倫理	2			M	0,2			M	0,2	0,2	0,2	
	政治・経済	2				M	0,2			0	0,2	0,2	
数学	数学I	3	3			3	3			3	0	3	
	数学	4			O	0,4			O	0,4	0,4	0,4	
	数学A	2			L	0,2			L	0,2	0	0,2	
	数学B	2			J	0,2			J	0,2		0,2	
理科	理科基礎	2		2		2		2		2		2	
	理科総合A	2		2		2		2		2	0	2	
	理科総合B	2	2			2	2			2	0	2	
	物理学	3			N	0,3				0,3	0,3	0,3	
	化学	3				0,3			N	0	0,3	0,3	
保健体育	体育	7~8	2	3	2	2	9	2	3	2	7		7
	保健	2	1	1		2	1	1		2		2	
芸術	美術I	2	A		K	0,2	A		K	0,2		0,2	
	美術	2			M	0,2			M	0,2		0,2	
	書道I	2	A		K	0,2	A		K	0,2	0	0,2	
	書道	2			M	0,2			M	0,2	0	0,2	
外国語	オブラ・コミュニケーションI	2		2		2		2		2	0	2	
	英語I	3	3			3	3			3	0	3	
	英語	4			O	0,4			O	0,4	0,4	0,4	
	ライティング	4		N		N	0,3		N		0,3	0,4	0,4
家庭	ライティング	4			P	0,4			P	0,4		0,4	
	家庭基礎	2	2			2	2			2		2	
	家庭総合	4				0				0	0	0	
情報	情報A	2		2		2		2		2	0	2	
普通科目小計			19	19	19,17,15,13	16,14,12,10	73,71,69,67,65,63	19	19	16,14,12,10	73,71,69,67,65,63		
専門	工業	原動機	2~6			M	0,2			M	0,2		0,2
		電気機器	2~6			M	0,2			M	0,2		0,2
		学校設定科目	2			M	0,2			M	0,2		0,2
		工業科目小計	0	0	0,2	0,2	0,2,4	0	0	0,2	0,2	0	0,2
	家庭	消費生活	2~4				L	0,2			0	0	0
		発育と保育	2~6			L	0,2			L	0,2	0,4	0,2,4
		フードデザイン	2~6			J	0,2			J	0,2	0,4	0,2,4
家庭科目小計	0	0	0,2,4,6	0,2,4,6	0,2,4,6,8,10	0	0	0,2,4,6	0,2,4,6	0,4,8	0,2,4,6,8,10		
専門科目小計			0	0	0,2,4,6	0,2,4,6	0,2,4,6,8,10	0	0	0,2,4,6	0,2,4,6	0,4,8	0,2,4,6,8,10
総合的な学習の時間			0	0	3	0	3	0	0	3	3		3
ホームルーム活動			1	1	1	1	4	1	1	1	3		3
総合計			20	20	20	20	80	20	20	20	60	19~24	79~84
備考													

(2) 機械・電気科

平成23年度 実施教育課程表

(平成23年度入学生用)

(平成23年度入学生用)

佐賀県立鳥栖工業高等学校

教科	科目	学年次 単位数	1年次		2年次		3年次		4年次		4年卒合計		併修生		併修生合計		注			
			M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E	M	E				
			(定時制課程) (機械・電気科)																	
国語	国語表現	2					J				0,2	0,2				0	0			
	国語総合	4	2		2						4	4	2	2		4	4			
	現代文	4								0	0					0,4	0,4			
	古典	4								0	0					0,4	0,4			
地理歴史	世界史A	2				2				2	2					0	0			
	世界史B	4								0	0					0,4	0,4			
	日本史A	2					K			0,2	0,2					0	0			
	日本史B	4								0	0					0,4	0,4			
	地理A	2						2		2	2				2	2	2	2		
公民	現代社会	2			2					2	2		2			2	2			
数学	数学基礎	2							L	0,2	0,2				L	0,2	0,2	注2		
	数学I	3	3							3	3	3				3	3			
	数学A	2			I					0,2	0,2					0	0	注3		
	数学B	2					J			0,2	0,2					0	0	注3		
理科	理科基礎	2			2					2	2		2			2	2			
	理科総合A	2						2		2	2				2	2	2			
保健体育	体育	7~8	2		1	2		2		7	7	2	1+	I	2	7	7	注		
	保健	2	1		1					2	2	1	1			2	2			
芸術	美術I	2		A						0,2	0,2	A				0,2	0,2	注		
	書道I	2		A						0,2	0,2	A				0,2	0,2	注		
外国語	ホップ・コミュニケーションI	2	2							2	2	2				2	2			
	英語	3				2				2	2					0,3	0,3			
	リーディング	4														0,4	0,4			
家庭	家庭基礎	2				2				2	2					0	0			
	家庭総合	4								0	0		4			0,4	0,4			
情報	情報A	2	情報技術基礎で代替						情報技術基礎で代替											
普通科目小計		4年卒	12	8,10	8,10,12	6,8,10			36,38,40,42,44	12	10	6,8,10						注9,10,11		
		併修											8,11,12	8,11,12						
専門	工業	工業技術基礎	2~6	3	3					3	3	3	3			3	3			
		課題研究	2~6					3	3	3	3				3	3	3	3		
		実習	2~18			3	3	3	3	2(1)	3(1)	8(1)	9(1)	3	3	2(1)	3(1)	8(1)	9(1)	注6,7
		製	2~10			2	2	2		2	6	2		2	2	2	6	0		
		工業数理基礎	2~6			2	2				2	0		2	2		2	0		
		情報技術基礎	2~6	2	2						2	2	2	2			2	2		
		生産システム技術	2~8						L		0,2	0,2				L	0,2	0,2		
		機械工作	2~8	2			I				2,4	0,2	2				2,4	0,2		
		機械設計	2~8			2		2		2	6	0			2		4	0		
		原動機	2~6					K		M	0,2,4	0,2,4				M	0,2	0,2		
		電気基礎	2~8		2		4				0	6	2	4			0	6		
		電気機器	2~6							M	0,2	0,2				M	0,2	0,2		
		電力技術	2~8					2		3	0	5				3	0	3		
		電子技術	2~8				I				0,2	0,2					0	0		
		ハードウェア技術	2~12					K			0,2	0,2					0	0		
マルチメディア応用	2~8							L	0,2	0,2				L	0,2	0,2				
工業科目小計		7	11,9	9,7	13,11,9			40,38,36,34,32	7	9	13,11,9	40,38,36,34,32								
家庭	消費生活	2~4							L	0,2	0,2					0	0			
	発育と保育	2~6						(L)		0	0					0	0			
	フードデザイン	2~6					J			0,2	0,2					0	0			
	家庭科目小計	0	0	0,2	0,2			0,2,4	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
専門科目小計		7	11,9	11,9,7	13,11,9				7	9	13,11,9									
総合的な学習の時間		課題研究で代替																		
ホームルーム活動		1	1	1	1			4	1	1	1	4								
総合計		20	20	20	20			80	20	20	28,31,32	80								
備考	注1 年次間の境界線は、当該年次に履修することが望ましいという意味である。																			
	注2 原則として数学 を必修とするが、編入等でやむを得ない場合、数学基礎を選択必修とする。																			
	注3 機械・電気科の卒業は、専門25単位以上の修得を条件とする。																			
	注4 「数学A」「数学B」の選択は、「数学」の履修を選択条件とする。																			
	注5 数字は選択科目の単位数を表す。数字後の記号は選択群を表す。																			
	注6 教科「芸術」の選択Aは、選択必修とする。																			
	注7 は併修で、は高校卒業程度認定試験で単位修得可能を表す。																			
	注8 は実務代替を表す。																			
	注9 実習の実務代替は外数を表す。																			
	注10 工業科の選択科目は、機械コース・電気コース相互に履修することができる。																			
	注11 併修は、年度あたり3科目12単位を上限とし、併修により最低17単位を修得する。																			
	注12 電気コースの併修生は、電験3種の認定を受けることができない。																			

3 制服について

(1) 設置準備委員会での主な意見

- ・ 上から下まで全て決めるのではなく、一部だけ決めて着用させてもよいのではないかと。(例 全員ブレザーのみとか、男子はブレザーのみ、女子はスカートのみなど)
- ・ 登校するために制服に着替え、登校後、実習の時には作業着に着替えなくてはならないから、制服は面倒という意見もあるが、着替えることで「これから実習だ」と気持ちを持ち替える効果があるのではないかと。
- ・ 指導する方はシンプルな方が指導しやすい。全員ブレザーの方が指導しやすい。
- ・ 鳥栖工業高校の生徒のアンケート調査では、現行のように、異装許可願いを出して私服が着られることを希望する生徒が 69%で最も多く、私服が良いという生徒が 31%、制服のみが良いという生徒は 0%であった。
- ・ 生徒指導や教育相談的な問題も、制服の着こなしを見ていれば気づくこともあり、制服を決めた方が良い。
- ・ 鳥栖高校の制服は全日制のものと全く違うから、定時制の生徒も着やすいという面がある。
- ・ 基本的には制服が良いが、生徒の事情もあり許可制で私服を認めることで良いと思う。

(2) 制服アンケート結果

	P T A 役員	定時制職員	生徒
1. 制服の是非			
(1) 制服着用	1	7	0
(2) 私服	2	1	13
(3) 現状のまま	9	12	29
2. 制服について			
(1) そのまま	3	4	
(2) 見直し	3	8	

(3) 県内定時制高校の制服の状況

学校名	制服規定について	実情	問題点
鳥栖工業高校	制服規定はあるが、許可制で私服可	数名の男子が、学生服で通学、ほとんどの生徒は、異装許可願いを出して、私服で通学している。	異装許可願いの中に遵守事項として襟付きのものとしTシャツのみの着用は禁止、色についても華美にならないようにとあるが、そこまでの指導はしていない。
鳥栖高校	服装容儀規定あり	年4回集中的に厳しく服装指導を行い、その狭間は見守りの期間として緩やかな指導を行い、成功している。	
A校	制服着用で私服不可	現在のところ問題ない。生徒の要望で制服にしている。	
B校	私服(特に規定は設けていない)		入学式、卒業式への参加は、男女ともスーツでの参加を義務付けている。
C校	私服	作業着等はできるだけ避けるように指導している。	気になるのは、作業着と女子の軽装。それぞれで対応している。
D校	私服	高校生らしい服装で登校となっているが、服装が乱れた生徒もいる。	高学年の女子の軽装
E校	制服着用で、20歳以上であれば私服許可	全日と同じ制服(ブレザー)でおしゃれな感じで人気がある。ほとんど問題ないが、シャツ出しが一部いる。	学年により、徹底できない時もある。

4 給食について

(1) 夜間定時制高等学校給食 生徒アンケート集計結果 (H19 と H21 の比較)

	H19.6月調査		H21.11月調査			
			(%)			
	生徒数 (人)	回答生徒数 (人)	鳥栖高校	鳥栖工業		
			鳥栖高校	鳥栖工業		
		65人	74人	55人	54人	
		52人	63人	45人	45人	
1 就労	1 有	76.9	81.0	75.6	57.8	
	2 無	23.1	19.0	24.4	42.2	
2 進学理由	1 経済的理由	47.9	40.0	40.0	29.3	
	2 定時選択	22.9	31.7	15.6	39.0	
	3 全日から変更	18.8	4.8	4.4	9.8	
	4 再入学	10.4	14.3	13.3	2.4	
	5 その他	-	9.5	26.7	19.5	
3 帰宅時間	1 ~ 21:30	34.6	4.9	13.6	9.8	
	2 21:30 ~ 22:00	34.6	47.5	34.1	46.3	
	3 22:00 ~ 23:00	21.2	36.1	43.2	34.1	
	4 23:00以降	9.6	11.5	9.1	12.2	
4 喫食状況	1 毎日	50.0	45.2	51.1	26.7	
	2 食べない日あり	21.2	33.9	28.9	51.1	
	3 ほとんど食べない	28.8	21.0	20.0	22.2	
5 完食状況	1 全部	63.6	67.2	53.5	42.2	
	2 残す	36.4	32.8	46.5	57.8	
6 残す理由	1 量が多い	6.3	18.2	15.0	4.3	
	2 きらいな物	56.3	18.2	25.0	34.8	
	3 時間不足	31.3	40.9	15.0	17.4	
	4 食欲ない	6.3	22.7	25.0	30.4	
	5 その他	-	-	20.0	13.0	
7 給食を食べない場合の食事	1いつ	授業前	-	2.0	13.6	4.4
		休み時間	-	7.8	31.8	24.4
		登校前	55.0	25.5	34.1	8.9
		下校後	45.0	45.1	20.5	20.0
		その他	-	19.6	2.3	42.2
	2どこ	家	80.5	75.5	56.8	70.4
		店	12.2	-	20.5	18.5
		職場	7.3	2.0	0.0	0.0
		学校	-	10.2	13.6	7.4
		その他	-	12.2	9.1	3.7
	3何	家のごはん	63.4	55.1	43.2	50.0
		コンビニメユ-	7.3	14.3	13.6	11.5
		外食メユ-	12.2	-	11.4	3.8
		パン・軽食	17.1	6.1	2.3	3.8
		その他	-	24.5	29.5	30.8
8 給食の意味	1 空腹を満たす	42.0	45.0	31.1	48.9	
	2 健康保持・栄養	24.0	36.7	33.3	26.7	
	3 コミュニケーション	34.0	15.0	26.7	15.6	
	4 その他	-	3.3	8.9	8.9	
9 必要性	1 必要	74.0	71.7	84.4	65.1	
	2 なくてよい	26.0	28.3	15.6	34.9	
		1給食費	41.7	37.5	0.0	7.1
		2好きな物	8.3	25.0	60.0	35.7
		3帰宅後	33.3	25.0	20.0	21.4
		4その他	8.3	12.5	20.0	35.7

(2) 生徒の意見(H21.11月調査結果 鳥栖高校定時制、鳥栖工業高校定時制)

問4 「食べない日がある」「ほとんど食べない」
の理由

- ・空腹ではない、食欲がない。(7人)
- ・寝ているから。(2人)
- ・時間が間に合わない。(12人)
- ・仕事で行けない。(2人)
- ・うるさいところで食べると不味く感じる。(1人)
- ・仕事が終わって、きつさと戦っているため。(1人)
- ・なんとなく。(5人)
- ・おいしくない。口に合わない。(5人)
- ・面倒くさい。(1人)
- ・時間が足りない。(2人)
- ・食べるのに飽きる。(1人)
- ・夜食べると太るから。(1人)

その他意見

- ・いつもおいしく食べている。時々味が薄いときもあるけど。(2人)
- ・何故、他人と食事を取らなければならないのか。(1人)
- ・5時20分からは早すぎる。食べる時間が早いから、もう少し遅くしてほしい。(3人)
- ・うまい、おいしい。(10人)
- ・2時間目くらいに食べたい。(1人)
- ・給食がおいしくない。(1人)
- ・愛情がこもっていない。(1人)
- ・食べる時間が短い。食べに来てても時間が足りない。(4人)
- ・肉を食べたい。(1人)
- ・給食がなかったら、夕飯は食べない。(1人)
- ・味が薄い。(1人)
- ・早く食べられてよい。(1人)
- ・給食が学校に来るときの楽しみである。(1人)
- ・栄養を考えてくださるので大切なものである。(2人)
- ・給食が必要な人だけ食べればよいと思う。(3人)
- ・食べる人だけ給食費を払えばいい。(1人)
- ・食べたい日だけ食べられるようにしたらいい。(1人)
- ・量が多い。(1人)
- ・みんなで食べる給食はよいコミュニケーションの場にもなる。(2人)
- ・給食は友達とのコミュニケーションも取れ、定時ならではのことなので必要だ。(1人)

(3) 設置準備委員会での主な意見

- ・ 食育は将来にわたる栄養摂取の大切さを知ることでもある。仕事の都合もあるだろうが、出来るだけ給食を食べるように指導して欲しい。また、「おいしくない」、「愛情がこもっていない」という意見があるが、定時制給食はすべて手作りで栄養バランスも考えた給食であることも生徒に理解させる必要がある。
- ・ 「仕事の関係で給食の時間に間に合わない」という意見もあるが、以前のアンケート調査では、給食の時間は早いほうがいいという意見が多かった。授業を早くすると、仕事次第では授業に間に合わなくなるからと考えられる。
- ・ 給食に対して否定的な意見が目立つが、肯定的な評価をしている生徒も多く、給食はコミュニケーションの場という位置づけの生徒も多かった。
- ・ 給食を試食させてもらったことがあるが、美味しかった、栄養バランスもよく、親としては有難く思っている。しかも、食事の後にはセルフで簡単に食器を洗うようになっていて、そこまで教育していただけると思うと大変有難いことである。

5 LHR・行事予定計画（4月～9月）

月	学校行事	総務・教務	進路指導・キャリア教育	生徒指導・生徒会	保健厚生・教育相談
4月	退任式・前期始業式 新任式 入学式 対面式 各種オリエンテーション 開校記念登山事前指導 開校記念登山	諸調査	進路調査 就職指導 資格取得対策	対面式 登校指導（車両、挨拶等） 頭髪服装検査 クラス役員選出	身体測定 生徒理解面談 各種検診 安全点検 大掃除
5月	定通野球大会 授業参観 保護者会		生徒の職場調査（全学年） ・ポートフォリオの作成（1年次） ・進路適性検査（2年次） ・進路ガイダンス（3,4年次）	定通野球大会壮行式 総会に向けたクラス討議 いじめアンケート 前期生徒総会 携帯電話安全教室	安全点検 大掃除
6月	定通総体	人権・同和教育 第1回定期考査	進路講話 ・「仕事と適性を知る」（1年次） ・「フリーターとニート」（2年次） ・「進路の手引・自己分析」（3年次） ・クレペリン検査・求人票の見方 履歴書書き（4年次） ・進路説明会（保護者）	定通総体結団式 定通総体表彰・解団式 交通安全指導 車両検査	安全点検
7月	三者面談 校内生活体験発表会 前期閉講式 夏季休業 夏季休業 前期開講式	選択教科説明 生活体験（作文原稿書き）	夏季補習（資格取得、就職、進学） 生徒への職場調査 夏季補習（資格取得、就職、進学） 生徒の職場への訪問	交通安全教育講演会 夏季休業中の生活指導 家庭訪問 地区別巡視 登校指導（車両、挨拶等） 頭髪服装検査	性教育講演会 安全点検 大掃除 夏季休業中の保健指導 安全点検 大掃除 生徒面談
8月	夏季休業 前期開講式				
9月	防災訓練 前期終業式 ホームマツチ	進路保障LHR 第2回定期考査	進路職業調査、生徒理解面談 就職応募書類発送・面接指導 入社試験開始	交通安全指導（車両検査） いじめアンケート	エイズ予防講演会 安全点検 大掃除

LHR・行事予定計画（10月～3月）

月	学校行事	総務・教務	進路指導・キャリア教育	生徒指導・生徒会	保健厚生・教育相談
10月	秋季休業、後期始業式 県生活体験発表会 三者面談 制作展示コンテスト ロボコンテスト		生徒職場調査 推薦入試願書提出・論文面接指導 資格取得対策	頭髪服装検査 生徒会長選挙 後期クラス役員選出	安全点検 大掃除 保健アンケート調査 不登校生徒対策会議
11月	社会人としてのマナー講習会	道徳教育	内定者指導	後期生徒総会 いじめアンケート 防犯講話・薬物乱用防止教室	風邪・インフルエンザ予防 健指導 安全点検 修学旅行前健康調査
12月	三者面談 修学旅行事前指導 修学旅行 後期閉講式、冬季休業	第3回定期考査	進路講話 内定会社への年賀状	冬期休業中の生活指導	修学旅行健康診断 安全点検 大掃除
1月	冬季休業 後期開講式 鳥栖工業ハローワーク	いじめ対策講演会	各種資格・免許等の紹介と整理・赴任 前指導 生徒への職場調査	登校指導（車両・挨拶等） いじめアンケート 頭髪服装検査	風邪・インフルエンザ予防 健指導 安全点検 大掃除
2月	予戱会（ホームマッチ）	第4回定期考査	進路ガイダンス 赴任確認と諸注意	消費者教育講座 頭髪服装検査	休学者への家庭連絡 保健講話（卒業生対象） 安全点検
3月	離面式 卒業式 成績不振者保護者会 後期終業式	人権・同和教育	赴任確認 1年の反省と次年度の目標	校外巡視	生徒理解面談 保健講話（在校生対象） 食育講話

6 新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員名簿

新鳥栖地区定時制高校設置準備委員会委員（平成21年4月）

No.	所属・職名	氏名	備考
1	鳥栖工業高等学校校長	大串 繁樹	委員長 鳥栖工業高校関係者
2	鳥栖工業高等学校教頭	山口 智啓	鳥栖工業高校関係者
3	鳥栖工業高等学校事務長	野口 茂実	
4	鳥栖高等学校校長	富松 九三男	副委員長 鳥栖高校関係者
5	鳥栖高等学校教頭	家永 國廣	鳥栖高校関係者
6	鳥栖工業高等学校PTA代表	橋本 照美	地元関係者
7	鳥栖高等学校PTA代表	村田 徹	
8	鳥栖市教育長	檜崎 光政	鳥栖市関係者
9	鳥栖市立基里中学校校長	三橋 早苗	中学校関係者
10	総務課長	伊東 博則	県教委関係者
11	教職員課長	中島 秀明	
12	教育政策課長	坂本 兼吾	
13	学校教育課長	平山 又一	
14	体育保健課長	塚原 康弘	
15	学校再編・新太良高校準備室長	峰 雅樹	
16	学校再編・新太良高校準備室参事	古賀 信孝	
事務局	鳥栖工業高等学校教諭	辻 雅也	
	学校再編・新太良高校準備室企画主査	上赤 真澄	